

- 問1 平安時代初期、朝廷が東北地方に支配権を広げようとした際に行われた政策と、それに関連する人物について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えて、胆沢城を築くなど支配を強めた。 | 2. 源頼朝を征夷大將軍に任命し、全国に守護や地頭を設置することで、東北地方の開墾を積極的に進めさせた。 | 3. 聖武天皇が国分寺や国分尼寺を各地に建立し、仏教の教えによって東北地方の人々の心を安らげようとした。 | 4. 白河上皇が北面の武士を組織し、武力を背景にして東北地方の豪族である奥州藤原氏を直接支配下に置いた。 |
|--|--|--|--|
- 問2 菅原道真の経歴やその後の影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 摂政の職につき、藤原氏の全盛期を築いたことで、娘を次々と天皇の后に送った。 | 2. 遣隋使として大陸に渡り、十七条の憲法を制定して天皇中心の政治を目指した。 | 3. 平氏の武士として力をつけ、兵庫の港を整備して宋との貿易を盛んに行った。 | 4. 藤原氏によって大宰府へ左遷された後、現地で没したが、後に学問の神様として信仰されるようになった。 |
|--|---|--|---|
- 問3 平安時代末期、平氏の棟梁として急速に勢力を拡大し、武士として初めて律令制下の最高官職に就いた人物が任命された役職として、正しいものを次のうちから選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|-------|
| 1. 関白 | 2. 征夷大將軍 | 3. 太政大臣 | 4. 摂政 |
|-------|----------|---------|-------|
- 問4 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国（唐）の影響から脱して、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれました。この文化を何と呼びますか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 国風文化 | 2. 飛鳥文化 | 3. 元禄文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 1053年、時の権力者であった藤原頼通が、仏教の浄土信仰に基づき、極楽浄土をこの世に再現しようとして現在の京都府宇治市に建立した建築物を選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 法隆寺金堂 | 2. 姫路城天守 | 3. 慈照寺銀閣 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問6 藤原氏が長期間にわたって摂政や関白の職を独占し、政治の実権を握り続けることができた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、自らは天皇の外祖父（母方の祖父）となったから。 | 2. 遣唐使を通じて得た大陸の最新の法制度を独占的に運用し、法に基づく厳格な官僚機構を作り上げたから。 | 3. 地方の国司を藤原氏の一族で独占し、各地の農地から得られる膨大な税を直接管理したから。 | 4. 強力な私兵集団である武士団を組織し、軍事力によって他の貴族や天皇を圧倒したから。 |
|---|---|---|---|
- 問7 894年の出来事を示した歴史年表において、唐の衰退や航海の危険を理由に、遣唐使の派遣を停止することを進言した人物は誰ですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 菅原道真 | 2. 小野妹子 | 3. 最澄 | 4. 空海 |
|---------|---------|-------|-------|
- 問8 9世紀初め、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 最澄 | 2. 空海 | 3. 行基 | 4. 鑑真 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問9 国風文化の時期には、漢字を簡略化したり一部を利用したりすることで、日本語の音を自由に書き表せる文字が普及しました。この文字が使われたことで、紫式部による『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれたほか、和歌が盛んに詠まれるようになりました。この文字の名称を答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 1. かな文字 | 2. 梵字 | 3. 楔形文字 | 4. 象形文字 |
|---------|-------|---------|---------|
- 問10 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
| 1. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた | 2. 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した | 3. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした | 4. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした |
|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
- 問11 平安時代末期、現在の岩手県平泉町を拠点に栄えた奥州藤原氏は、北上川流域などで産出されるある鉱産資源を背景に、京都の文化とも異なる独自の仏教文化を築きました。中尊寺金色堂などの豪華な建築物にも象徴され、当時の重要な輸出品でもあったこの鉱産資源は何ですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 金 | 2. 銀 | 3. 鉄 | 4. 銅 |
|------|------|------|------|
- 問12 平安時代中期に藤原道長が摂政に就任したことで全盛期を迎えた、藤原氏が天皇の代理や補佐として実権を握る政治形態を何といいますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 幕府政治 | 2. 親政 | 3. 院政 | 4. 摂関政治 |
|---------|-------|-------|---------|
- 問13 平安時代の政治体制は、天皇や貴族の勢力関係の変化に伴い、大きく3つの時期に分けることができます。空海が唐から帰国して真言宗を開いた時期以降の政治の変遷について、時代順（古い順）に正しく並べたものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 白河天皇による院政、桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治 | 2. 桓武天皇による国司の監督強化、白河天皇による院政、藤原道長らによる摂関政治 | 3. 桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政 | 4. 藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政、桓武天皇による国司の監督強化 |
|--|--|--|--|
- 問14 平安時代初期、現在の東北地方に居住し、朝廷の支配が十分に及んでいなかった人々を指す名称として正しいものはどれですか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 隼人 | 2. 蝦夷 | 3. 南蛮人 | 4. 渡来人 |
|-------|-------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷と呼ばれた人々の抵抗を抑えて、胆沢城を築くなど支配を強めた。	桓武天皇は、東北地方で抵抗が続いていた蝦夷（えみし）を平定するため、軍勢力を行使しました。その際、坂上田村麻呂が征夷大將軍として派遣され、現在の岩手県にあたる場所に胆沢城を築くなどの成果を上げ、朝廷の支配圏を北へと拡大させました。
問2	答え 4 藤原氏によって大宰府へ左遷された後、現地で没したが、後に学問の神様として信仰されるようになった。	菅原道真は優れた学者・政治家として活躍しましたが、藤原時平の策略によって大宰府へと左遷され、その地で亡くなりました。その後、平安京で落雷や疫病（感染症）の流行が相次いだため、これらは道真の怨霊の仕業であると恐れられました。のちに怒りを鎮めるために神として祀られ、現在は「天神様」として学問の神様の象徴となっています。
問3	答え 3 太政大臣	律令制における官職の最高位であり、本来は適任者がいなければ欠員とされる名誉ある地位でした。平安時代末期に平清盛が武士として初めてこの職に就いたことは、それまでの貴族中心の政治から、武士が政治の実権を握る時代へと移行する象徴的な出来事となりました。
問4	答え 1 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国との公的な交流が途絶えました。これをきっかけに、それまでの唐の影響を強く受けた文化から、日本独自の感性を反映した文化へと発展しました。
問5	答え 4 平等院鳳凰堂	平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来るとする末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が貴族の間で盛んになりました。藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通によって建立されたこの建築物は、当時の華やかな国風文化と信仰の結びつきを象徴しています。
問6	答え 1 自分の娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てて、自らは天皇の外祖父（母方の祖父）となったから。	藤原氏は「外戚関係（母方の親戚関係）」を利用して権力を維持しました。娘を天皇の妃に送り込み、誕生した皇子を天皇に即位させることで、天皇の母方の祖父（外祖父）という強い立場から政治に介入したのです。これは武力や経済制度のみに頼るものとは異なる、当時の貴族社会特有の権力掌握術でした。
問7	答え 1 菅原道真	894年、学問の神様としても知られる学者の菅原道真は、当時の唐が国内の混乱で衰退していたことや、往復の航海が非常に危険であったことを踏まえ、遣唐使の派遣停止を宇多天皇に進言しました。これにより、日本独自の感性を重視する国風文化の形成が促されました。他の選択肢について、小野妹子は飛鳥時代の遣隋使であり、最澄と空海は平安時代初期に遣唐使として唐へ渡った僧侶です。
問8	答え 1 最澄	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、唐での修行を終えて帰国し、比叡山（滋賀県・京都府）を拠点に天台宗を日本に伝えました。同時期に活躍した空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めており、入試ではこの二人の活動場所と宗派の組み合わせが頻出となります。
問9	答え 1 かな文字	漢字を日本風に崩したり簡略化したりして生まれた「かな文字（ひらがな・カタカナ）」の普及は、国風文化の最大の特徴の一つです。これにより、漢字だけでは表現しきれなかった日本人の繊細な感情や、日常の出来事を文章に綴ることが可能になり、女流文学や和歌が大きく発展しました。
問10	答え 2 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。
問11	答え 1 金	奥州藤原氏は、領内から産出される豊富な「金」を経済基盤として、平泉に中尊寺や毛越寺などの壮麗な寺院を建立しました。この金は当時の日本における重要な交易品であり、平泉から京都へ送られただけでなく、大陸の宋（中国）への輸出にも使われ、奥州藤原氏の強大な権力と富の源泉となりました。
問12	答え 4 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少のときは「摂政」、成人してからは「関白」という官職に就くことで政治の実権を握りました。道長とその子である頼通の時代にその力は絶頂に達し、娘を次々と天皇の后（きさき）にすることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として強い影響力を行使しました。
問13	答え 3 桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政	平安時代初期、桓武天皇は勘解由使を設置して国司の交代時の不正を厳しく監督し、天皇中心の政治を立て直そうとしました。中期になると、天皇の外戚（母方の親戚）となった藤原氏の道長・頼通親子が摂政・関白として実権を握る摂関政治が全盛期を迎えました。その後、藤原氏を抑えるために白河天皇が位を譲ったあとも上皇として政治を行う院政を開始し、政治の主導権が移り変わっていきました。
問14	答え 2 蝦夷	律令国家の形成を進める朝廷は、現在の東北地方に住み、独自の生活様式を保っていた人々を「蝦夷（えみし）」と呼びました。朝廷は彼らを支配下に置くため、軍事的な征服や、城柵と呼ばれる拠点の構築を長年にわたって進めました。